

# もっと知りたい

武者小路実篤

さね あつ  
実篤さんは

# どんな人?

ビフォー・アフター編

## こどものころの実篤さん

### □体が弱い

お母さんは、病弱な実篤をいつも心配していました。昔はこどもが病気で亡くなることも多かったのです。

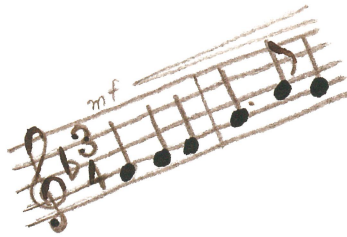


### □おとなしくて友だちが少ない

学校の先生から、おとなしすぎるのが欠点と言われ、けんかしてほめられたほどでした。

### □作文・画が苦手

「自分は子供の時から一番下手なものは唱歌（※音楽のこと）に、画に、習字に、作文、それに体操。」とふりかえています。



### □高校をビリから4番で卒業

学校の勉強は好きになれませんでした。本はたくさん読みました。



10歳ごろの実篤 明治28(1895)年ごろ  
学習院初等学科の制服で

さて、おとなになった実篤さんは？(うら面を見てみよう！)



# おとなさねあつになった実篤さん

さい  
□90歳まで生きました

なかま  
□たくさんの仲間といろいろなことをやりました

ざっし  
何度も雑誌を作ったり、いっしょに暮らしながら  
はたら  
働く村(新しき村)もつくりました。



↑雑誌『白樺』の仲間たち

めいじ  
明治45(1912)年1月4日

しょうせつ  
□たくさんの小説や詩を書いて教科書の  
のり、毎年、絵の個展こてんも開きました

ロシアのトルストイという作家を知り、文章の持つ、人に思いを伝えるというかに目ざめて、自分も作家になりました。こどもができてからは、そのかわいさを何とか描きとめたほんかくてきいと本格的に絵に取り組むようになり、絵の仕事でも知られるようになりました。

くんしょう  
□文化勲章をもらいました

文化勲章って何かな? 調べてみよう!

作文や絵は、苦手でも好きだったからがんばって、有名になったんだね!



80歳ごろの実篤 昭和40(1965)年ごろ



↑個展(実篤の作品だけを集めた展覧会)会場てらんかいで  
昭和6(1931)年12月



↑文化勲章を受章した日の実篤  
昭和26(1951)年11月3日